



## 第2回国立大学法人東京大学債券 (愛称:東京大学 FSI 債)の引受けについて

今般、みずほ証券株式会社(取締役社長:浜本 吉郎)は、国立大学法人東京大学が発行するソーシャルボンドの引受主幹事を務めましたので、お知らせいたします。

東京大学は、国の高等教育政策を直接担う国立大学であり、世界最高水準の研究を追求・発信しています。本債券で調達した資金は FSI<sup>注1)</sup> 事業に充当され、東京大学の行動方針である「UTokyo Compass」に示された、世界最高水準の教育・研究を目指す総合大学として、知の接続機能を持つ拠点としての役割を果たすための先端的研究施設設備の整備や、未来を築く卓越した人材を輩出し、全ての構成員が安心して活動できる多様性と包摂性を合わせ持った「世界の誰もが来たくなる大学」にふさわしいキャンパス整備を通じて、より良い未来の創造のために活用されます。

これらの活動は、国連の持続可能な開発目標(SDGs)の「目標 4:質の高い教育をみんなに」「目標 9:産業と技術革新の基盤をつくろう」の達成に資するものです。とりわけ、東京大学は FSI 事業として、SDGs の達成に資する研究教育プロジェクトを推進しており、地球と人類社会の未来への貢献に向けた協創を効果的に推進することを目指しています。

本債券を発行する枠組みであるソーシャルボンド・フレームワークについて、ICMA(International Capital Market Association/国際資本市場協会)の定義するソーシャルボンド原則2021に適合する旨、株式会社日本格付研究所から最上位評価である「Social 1(F)」を取得しています。

当社はソーシャルボンドの引受けをはじめ、さまざまなお客さまの SDGs 債の発行を支援し、ストラクチャリングなどを通してお客さまの社会貢献への取り組みを全面的に支援しています。当社は、社会と〈みずほ〉の持続的な発展に向けて、金融機関として貢献すべき取り組みを積極的に推進しており、資本市場における SDGs 債の専門的な情報収集、お客さまの SDGs 債ストラクチャリングを支援するため、サステナビリティ推進部を設置しています。

これらの取り組みにより日本の円建て債券市場でトップティアの取引シェアを確保しています。また、海外市場では、お客さまのさまざまなニーズに応えるためのクロスボーダー債券取引を強化し、実績も着実に増加しています。

今後も、当社はグループの総合力を活用し、お客さまの金融取引を通じた社会貢献への取り組みをサポートし、最良のサービスを提供してまいります。

以上

注1) FSI(Future Society Initiative:未来社会協創)とは、教育と研究に加えて、複雑化する社会課題の解決を新たなミッションと認識し、文理を超えた「知」を駆使して、より良い未来社会の構築に向けて協創すること